

サンフランシスコ通信

運輸と観光の側面から探る米国社会の特徴

谷内 拓生 [著]



itcj

財団法人 国際観光サービスセンター

はじめに

国際観光振興機構（JNTO）でのサンフランシスコ勤務から離任して早くも半年を過ぎた。着任した2001年12月はまだ同時テロの余波覚めやらぬ時期であり、サンフランシスコへ向かう飛行機の機内はガラガラ、入国審査は物々しく市内には至る所に大小の星条旗がはためいていたのが非常に印象的であった。その後もSARSやイラク戦争といった世界的な不安定要因が連続し米国からアジアへの旅行者数は急減、当機構でもSARS関連の問い合わせへの対応や日本が影響を受けていないことをアピールする緊急施策の検討など、想定外の事態に見舞われた。「観光は平和のパスポート」という言葉通り、まさにちょっとした出来事がすぐさま大きな不安定要因となって各業界に波及することを見せつけられた。我々観光業界、特にインバウンド業界は平時の世の中であることが前提となっている産業であることを痛感した次第であった。

一方生後5ヶ月で渡米した長男の成長に伴い、より家族の視点で交通機関を見る機会が必然的に増えた。混雑度がそもそも違うとはいえ、米国の交通機関におけるバリアフリー（この場合車椅子などの乗客のみならずベビーカーも含める）は本当に徹底しており、日本も大いに見習うべき点があると感じる。また「建前と本音」が混在して何事も徹底して行えない日本社会の曖昧さよりも、テロ以降大変嚴重になった空港での警備や駐車場における優先レーンなど、ピューリタンの国米国ならではの「例外を設けない」徹底した姿勢はその空気に慣れれば大変合理的で居心地が良く、特に今後日本の交通機関の運営において参考になる点が多いと思われる。

また、実は私は学生時代にアメリカはウィスコンシン州ミルウォーキーという、ピールで有名な街に約一年留学していた。ゆえにアメリカが初めてというわけではなくミルウォーキー時代の経験が多少活かされたこともあったが、それ以上に同じ国とは思えないくらい雰囲気の違いや新たな発見に気付く事が多かった。また、前回は留学生としてであったが今回は派遣駐在員としての10年ぶりの米国生活であり、自分の立場や時代の変化から、違った視点でこの「サンフランシスコ通信」を通して再度アメリカを見る機会を得られたことに感謝したい。

なお本書はサンフランシスコに在任中私が毎月当地の運輸・観光・社会に関する様々な時事的な話題から、参考に資するものを日本に送付していた「サンフランシスコ通信」合計33号分をもとにそれらを加筆・訂正して作成した。この報告書をまとめるにあたり、数多くの助言及びあたたかいご指導を賜った国際観光振興機構（JNTO）及び国際観光サービスセンター（ITCJ）の皆様、心よりお礼申し上げます。

2005年10月
谷内拓生

サンフランシスコ通信

2002年3月1日発行

Vol. 1

Japan National Tourist Organization
San Francisco Office

谷内 拓生

[Contents]

1. 巻首ご挨拶
2. 西海岸の空港安全対策について
3. シアトルトラベルショー参加報告
4. SF雑記帳
 - ・ マナーの良い歩行者
 - ・ 自動車免許筆記試験体験記
 - ・ 自動車免許実技試験体験記



サンフランシスコ通信

2004年12月発行

Vol. 33 最終号!

Japan National Tourist Organization
San Francisco Office

谷内 拓生

[Contents]

1. 日本の鉄道に対する米国人からの要望
2. サンフランシスコでの生活回顧



目次

イラスト カラーマップ集 ————— I

第1章 米国の鉄道事情 …………… 1

- I. BART 延伸工事、開業、その後について ————— 1
1. BART 延伸工事について …………… 1
 2. BART に新型券売機導入 …………… 2
 3. BART 空港延伸また延期 …………… 4
 4. BART 延伸開業速報 …………… 5
 5. BART 延伸開業その後 …………… 8
 6. BART 空港延伸後も乗客数伸び悩み …………… 10
 7. テロ対策が強化された地下鉄 BART …………… 11
- II. カリフォルニア高速鉄道計画 ————— 13
1. カリフォルニア州高速鉄道計画 …………… 13
 2. カリフォルニア高速鉄道計画ひとまず延期か …………… 14
 3. カリフォルニア高速鉄道の現状 …………… 16
 4. カリフォルニア高速鉄道関連情報 …………… 18
 5. 高速鉄道州債発行が 2006 年に延期 …………… 19
- III. カルトレインの近況 ————— 21
1. カルトレインの新型車両 …………… 21
 2. カルトレインに急行サービス初登場 …………… 23
- IV. 路面電車 ————— 27
1. 大混雑するサンフランシスコの路面電車 …………… 27
- V. アムトラック事情 ————— 29
1. アムトラック「アセラ」試乗記 …………… 29
 2. ポートランド～シアトルのアムトラックサービス …………… 33
- VI. ラスベガスのモノレール ————— 39
1. ラスベガスのモノレール建設計画 …………… 39
 2. ラスベガスモノレール開業延期 …………… 41
 3. ラスベガスモノレール開通 …………… 43
 4. ラスベガスモノレール運行停止続く …………… 47
- VII. シアトルのモノレール ————— 49
1. シアトルのモノレール建設計画 …………… 49

VIII. ポートランドのライトレール	52
1. ポートランド空港連絡鉄道	52
IX. ダラスのライトレール	55
1. ダラスのライトレール (DART)	55
X. マイアミの公共鉄道	58
1. マイアミの公共鉄道	58
XI. その他	61
1. カリフォルニア鉄道博物館訪問記	61
2. 鉄道車両を用いた企業のプレゼンテーション	63

第2章 米国の航空事情 65

1. 西海岸の空港安全対策について	65
2. 航空会社のシニア層取り込み戦略	67
3. 同時多発テロ後の航空会社	69
4. ロサンゼルス空港のお客様案内サービス	71
5. 空港警備対策の実効度	72
6. 航空機利用に関する米国人の意識	73
7. 低価格航空シャトル便について	74
8. 航空手荷物新ガイドライン発表	75
9. 航空会社統計あれこれ	77
10. 航空機にインターネット装備進む	81
11. 航空機利用者の身元調査	83
12. 新興格安航空会社ジェットブルーの躍進 (その1)	84
13. 躍進するジェットブルー航空 (その2)	89
14. 進む機内食の有料化	92
15. 北米航空旅客は年間 2.6%の減少	93
16. ショッピングモールへと変貌する空港	94
17. 空港警備新制度で乗客を色分け?	96
18. サンフランシスコ空港の乗客獲得作戦	97
19. 米国内線で搭乗客を危険度別に色で選別	100
20. 米格安航空会社 Ted 運行開始	102
21. 空港指紋採取システム効果あり?	106
22. 搭乗券に IC チップの使用を検討	107
23. 空港登録者制度で安全性向上なるか	109
24. ヴァージン航空が低コスト航空会社設立	111

第3章 旅行業界を取り巻く環境 115

1. 航空会社コミッションカットへの対応	115
2. 米国西海岸に旅行者は戻るのか?	117

3. 米国民の旅行パターンの変化	121
4. 米国インターネット旅行会社徹底比較	122
5. 旅行に対するテロの心理的影響	125
6. ラスベガスの観光産業	126
7. 専門特化する旅行代理店	130
8. ロサンゼルス観光局の夏期キャンペーン	131
9. 減少続く米国への観光者数	133
10. 旅行関連特定消費に課税の動き	135
11. 旅行サイトが最低料金表記を充実	136
12. 旅行サイトの手荷物宅配優待サービス	137
13. 西海岸トラベルエージェントの経営状況	139
14. 旅行業界も雇用が海外に流出	142
15. ホテルにも自動チェックインマシン登場	144
16. スケールの大きい米国人の家族旅行	146
17. 手堅い親族旅行市場	148
18. ジェネレーション X 世代の旅行傾向	149
19. AAA 会員の航空旅行に対する意識	150
20. 増大するヒスパニック需要を狙う旅行産業	152
21. 景気回復に沸くサンフランシスコ観光業界	154
22. 米国で注目されるメディカルツーリズム	156

第4章 米国の生活・経済環境 159

1. 米国人の休暇取得スタイルについて	159
2. シニア割引続々中止	161
3. CRM（顧客関係管理）の難しさ	162
4. ファストフード隆盛に陰り	164
5. ホリデーショッピング商戦の結果	166
6. 富裕者マーケットの特徴	168
7. シリコンバレー Now	169
8. 屋外で整備が進むインターネット接続環境	172
9. 米国生活のトレンド（Jamba Juice 社）	174
10. イラク戦争とサンフランシスコの軍需産業	175
11. 米国ビザ申請に面接実施の影響	177
12. AC トランジットの新型バス車両	178
13. 高速道路優先レーンにハイブリッド車を	179
14. 出張中の食費も税金控除対象？	181
15. 米国入国時に顔写真撮影と指紋採取を開始	183
16. アテネオリンピックの予約が低調	185
17. 「州」をブランドとして売り込む	186
18. 多額の経済効果を生むカリフォルニアワイン	188
19. カリフォルニア州初のカジノ認可へ	189
20. 州政府業務の海外アウトソーシングを禁止	191

第5章 各種イベント・セミナーへの参加報告 193

1. シアトルトラベルショー参加報告..... 193
2. ホノルル W 杯サッカーセミナー開催報告 194
3. TIA マーケティングフォーラム参加報告・2002 年 194
4. TIA マーケティングフォーラム参加報告・2003 年 201

第6章 サンフランシスコ雑記帳 205

1. 着任ご挨拶..... 205
2. マナーの良い歩行者..... 205
3. 自動車免許筆記試験体験記..... 207
4. 自動車免許実技試験体験記..... 208
5. 新庄~~！（その1）..... 208
6. SF自動車マナー事情..... 209
7. 米国人の人気旅行先..... 211
8. 省略英単語一覧..... 211
9. 新庄~~！（その2）~SF Business Times 誌より~ 212
10. サッカーワールドカップに関する質問..... 213
11. NRE ワールドベントー社工場見学 214
12. 「太った乗客」への対応..... 215
13. 空港に新しい金属探知機導入？ 216
14. ソルトレイクシティのライトレール（路面電車）..... 217
15. ゴルフカートで公道を走行？ 219
16. 「お決まりの質問やめます」..... 220
17. 2012 年オリンピック誘致合戦 221
18. エスプレッソ税導入か？ 222
19. 空港検査官の研修始まる..... 223
20. 2012 年オリンピック誘致合戦 224
21. 空港コインロッカーに新商品が登場..... 226
22. 米国人のマナー考察（その1）..... 227
23. ロサンゼルスに電池自動車登場..... 228
24. 巨大クリスマスツリー点灯！ 229
25. 米国人のマナー考察（その2）..... 230
26. 新しい駐車メーターの功罪 231
27. 新生児の過半数がラテン系..... 232
28. サンフランシスコ空港エアトレイン開通..... 233
29. コカコーラが虫歯予防団体に巨額の寄付..... 234
30. 桜祭りと米国人..... 235
31. ウェブサイトへ誘導させる顧客サービス..... 236
32. 企業にも「三振即アウト法」採択か..... 237
33. ビザ保有者に指紋押捺と写真撮影実施か..... 237
34. 車内での出産が 300 人に 1 人！ 238
35. 運転中の携帯電話使用禁止..... 239

36. ベットボトルのリサイクル進まず	239
37. 結婚式の招待状も E メール!	240
38. フォードや GM が防弾型乗用車発売へ	241
39. 空港手荷物検査に苦情急増	242
40. 米国への語学留学者数が激減	243
41. 航空機内での携帯電話一部容認	244
42. 「炭酸入り牛乳」学校から注文続々	244
43. 会社ではよりフォーマルな服装を?	245
44. 喫煙部屋を廃止するホテルが増加	246
45. 隠密捜査で空港警備の甘さを指摘	247
46. カリフォルニア州知事リコール選挙	248
47. 社会的弱者に対する優しさ	249
48. 座席をリクライニングさせない装置	250
49. SARS とインフルエンザと米国人	251
50. 米国と日本のワーキングスタイルの違い (その1)	252
51. 米国と日本のワーキングスタイルの違い (その2)	254
52. カリフォルニア州は海岸でも絶対禁煙?	255
53. 全て E チケットに移行するコンチネンタル航空	256
54. ハイブリッド自動車が優先レーン走行可能に	257
55. アムトラックのずさんなチケット販売	258
56. 休暇中も職場に連絡する米国人	259
57. 航空燃料節約のための知恵	260
58. マクドナルドもクレジットカード利用可能へ	261
59. 駅構内でチョコレートを食べる逮捕	262
60. クレジットカードの代金滞納が当たり前?	263
61. はるかに劣るブロードバンド普及率	264
62. ヨセミテ国立公園にハイブリッドバス導入へ	265
63. 一日平均 8.6 時間も眠る米国人	267
64. 多機能化するハイテク学生証	268
65. トイレは最適の広告空間	268

第7章 日本の鉄道に対する米国人からの要望 271

第8章 サンフランシスコでの生活回顧 277

著者紹介

カラーマップ・イラスト集



ここではマップやイラストをカラーでわかりやすく記載してあります。

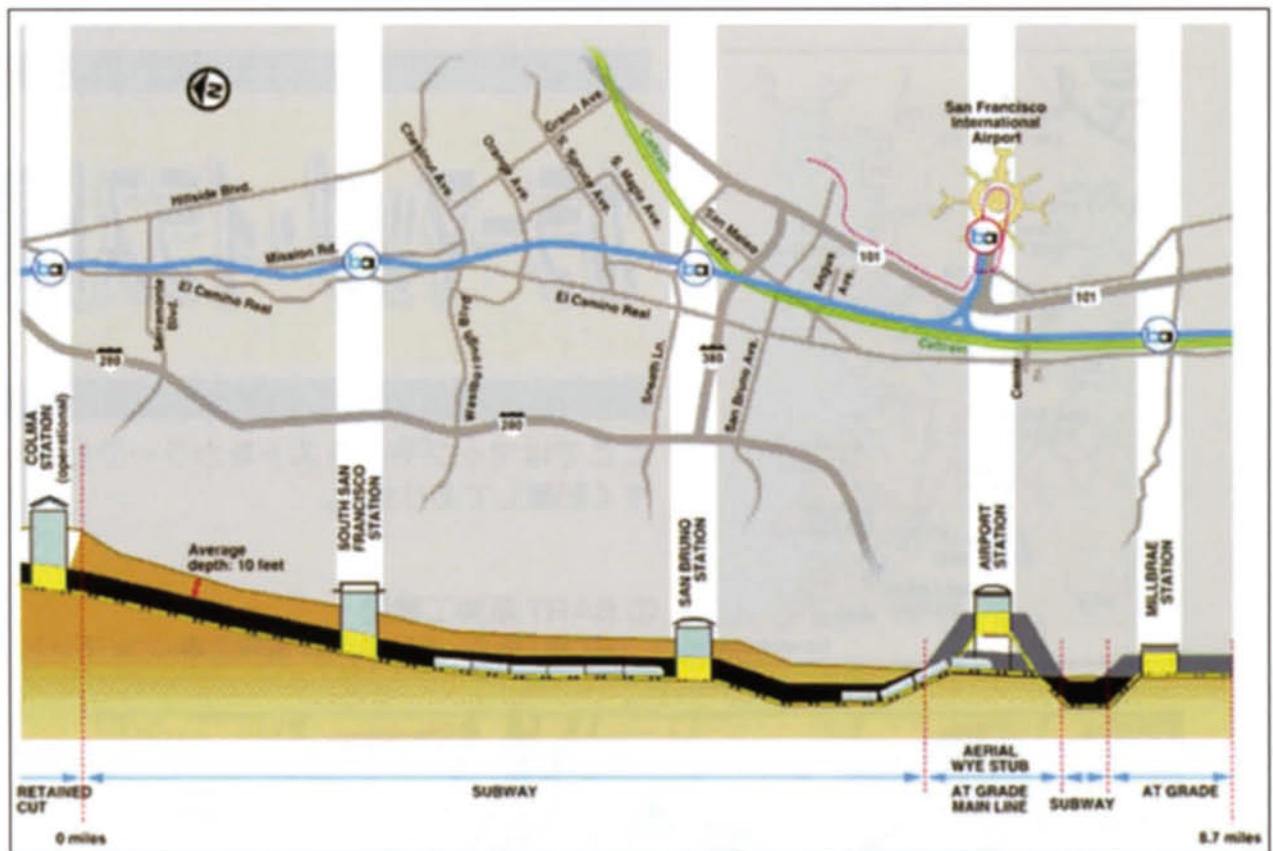
① BART 延伸工事図
(P1 第1章 I. <1. BART 延伸工事について>)



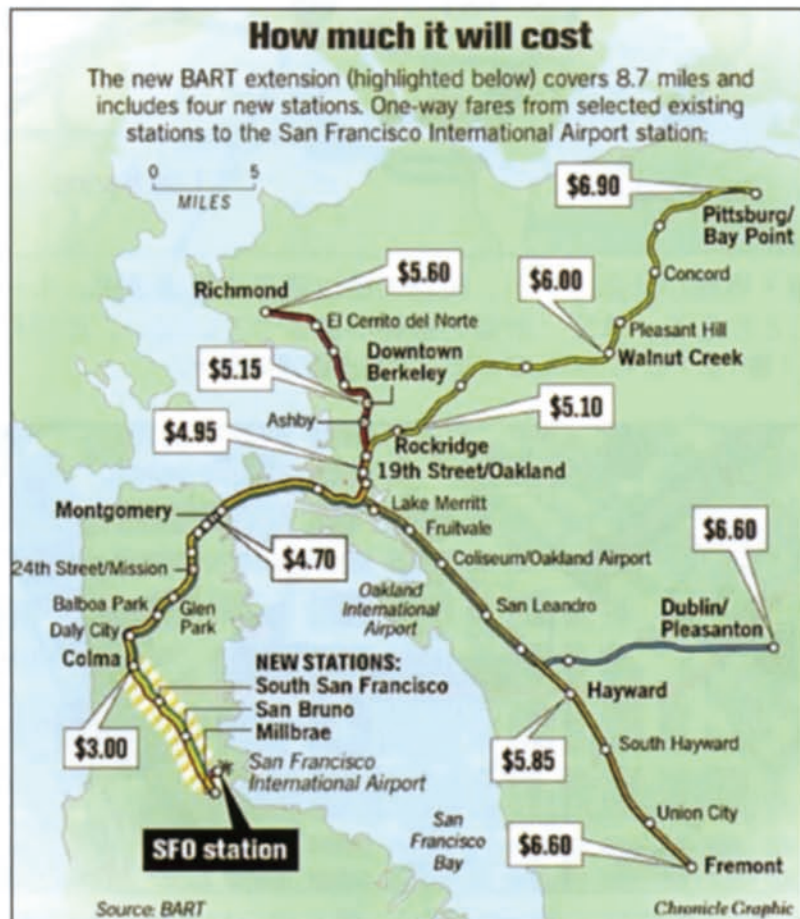
②図の青線・黒線が計画ルート。灰色の線は既存の高速道路。ルート案が複数あることから、まだ 計画の根幹が定まっていないことがわかります
(P13 第1章 II. <1. カルフォルニア高速鉄道計画>)



③現在のモノレール路線（オレンジ色）。観光用のわずか1キロ強の路線で途中駅もありません
(P49 第1章 VII. <1. シアトルのモノレール建設計画>)



④ BART 延伸区間の構造 (*青線が BART。緑線は郊外列車カルトレインのルート)
 左側がサンフランシスコ市内、右側がサンノゼ方面になる
 (P5 第 1 章 I. <4. BART 延伸開業速報>)



⑤ 空港から市内まで 4.7 ドル (約 560 円) は日本の地下鉄と比較してもかなり高いと思います
 (P9 第 1 章 I. <5. BART 延伸開業その後> - 予想外の乗客の少なさ)